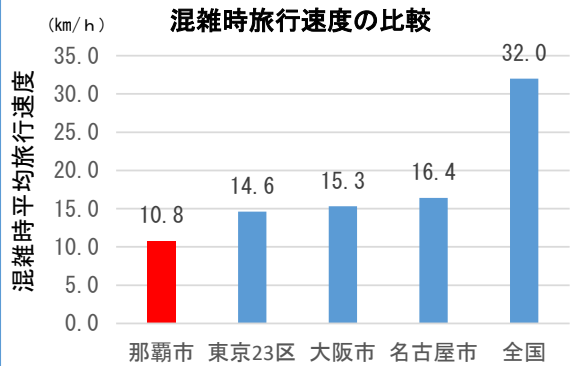


沖縄の道路渋滞対策

沖縄の道路交通の現状・課題とその背景

○全国ワーストクラスの渋滞

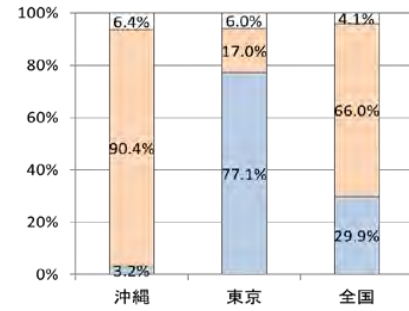


出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

○極端なマイカー依存

自家用車：90.4%、公共交通：3.2%

機関別旅客輸送分担率



出典：旅客地域流動調査 (H21年度)

○観光客の増加

観光客数(R元年度): 約 947万人 (H24比約1.6倍)
観光収入(R元年度): 約7,047億円 (H24比約1.8倍)

○観光客増に伴うレンタカー保有台数の増加

観光客の利用する交通手段はレンタカーが多く、
レンタカー利用は年々増加
レンタカー保有台数(H30年度): 32,951台
(H24年度比約1.5倍)

渋滞解消に向けて取り組むべき施策

○道路ネットワークの整備 <交通容量の確保>

- ・ハシゴ道路ネットワークの整備、幹線道路網の整備
ー沖縄西海岸道路、名護東道路、那覇空港自動車道 等
- ・渋滞ボトルネック箇所における交差点改良等
ー主要渋滞箇所の選定、ピンポイント渋滞対策 等
- ・インターチェンジの整備促進
ースマートインターチェンジの追加整備 等

○公共交通利用の促進 <交通量の抑制>

- ・公共交通の整備・再編(モノレール延伸、基幹バスの導入 等)
- ・公共交通の利便性向上(モノレール3両化、バスレーン延長、バス停の機能向上、ICカードを活用した利用促進 等)
- ・交通結節点の整備(てだこ浦西駅P&R、旭橋BT 等)
- ・道路空間の再編(自転車・歩行者道整備、国際通りの再編 等)
- ・観光客の公共交通利用促進(結節点の活用、分かりやすい情報提供、クルーズ船観光客の動線確保、レンタサイクル導入 等)
- ・県民意識への効果的な働きかけ(民間企業の取組支援、交通需要分散(時差出勤、テレワーク等))

『ハシゴ道路ネットワーク』の整備

■南北を走る強固な【3本の柱】

【西側の柱】国道58号

【中央の柱】沖縄自動車道

【東側の柱】国道329号

■ 3本の柱を支える【東西連絡道路】

沖縄嘉手納線、宜野湾北中城線、浦添西原線など

■ 高速道路を使いやすくする【インターチェンジ】

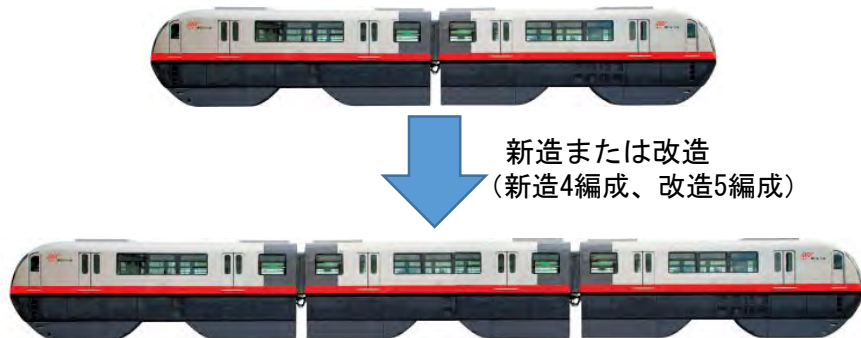
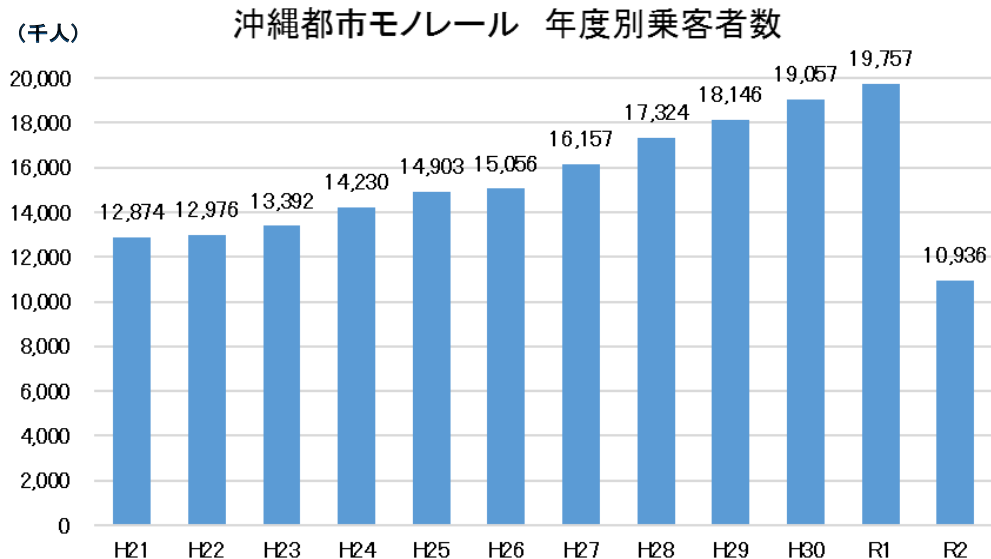
喜舎場スマートＩＣ、幸地ＩＣ、池武当ＩＣなど



沖縄の交通環境改善の取り組み(モノレール3両化)

○近年乗客数の増加が著しく、加えて路線延伸や那覇空港第二滑走路供用に伴う更なる乗客数の増加への対応が喫緊の課題。

○輸送力を増強するため、現行の2両編成を3両編成化し、併せて運行に必要な車両基地の拡張整備等を実施。



3両編成車両イメージ

